

規範性をはぐくむ教育の推進

アピールポイント

子どもたちの規範性をはぐくむことを目的とし、広島市の実態に即した教材や活動プログラムの開発

〔規範性をはぐくむための教材・活動プログラム〕

4-(1)「法やきまりの遵守」の活動プログラム ～第3学年及び第4学年 社会科学習「ごみの処理」との関連～

社会のきまりやマナーについて考えよう

道徳 1h → 社会科 全15h → 道徳 1h → 社会科 3h → 学級活動 1h

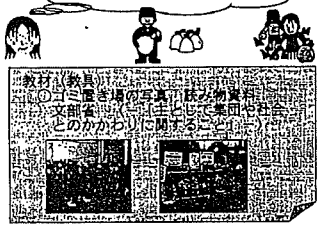
○活動プログラムのねらい
 ・ 社会科「ごみの処理」の学習と関連づけた取組の中で、身近なごみ処理に関わる問題に焦点を当て、社会のきまりやマナーの必要性に気付かせるとともに、きまりやマナーを守ろうとする心情や態度を育てる。
 ○指導上の留意事項
 ・ 本プログラムでは、清掃工場の見学やビデオなどの具体的な体験や教材をもとに、身近なごみ問題から地域のごみ処理の方法、さらには遠く離れた自然環境への影響へと視野を広げながら、社会的きまりやマナーについて考えを深めさせるようにする。

道徳の時間 4-(1) 規則の尊重

「危険です ガラスが入っています」

○ねらい
 身近なごみ問題について考えることを通して、公徳心をもって法やきまりを大切にし、進んで義務を果たそうとする態度を育てる。

地域の環境を守るため、進んでごみの出し方のきまりを守ろう。



教材(教員用)
 ① 社会科「ごみの処理」の学習と関連づけた取組の中で、身近なごみ問題から地域のごみ処理の方法、さらには遠く離れた自然環境への影響へと視野を広げながら、社会的きまりやマナーについて考えを深めさせるようにする。

社会科 「ごみの処理」

—清掃工場の見学を通して—

1 単元のねらい
 清掃工場を見学し、ごみの処理方法や働く人の努力や願いを理解させるとともに、ごみの処理やリサイクルに関する問題に関心を持たせ、自分たちができる活動について考えさせる。

2 展開1(「清掃工場の見学」)

① 工場見学に行く計画を立てる。
 ② 清掃工場を見学し、ごみの処理方法や働く人の努力、願いを理解する。
 ③ ごみの処理について分かったことや考えたことをまとめる。

3 展開2(「かんきょうを守る」)

① 清掃工場の見学をもとに、ごみの処理やリサイクルに関する問題に興味をもち、自分たちができる活動を考える。
 ② 自分たちができる活動について考えたことを新聞等で表現することができる。


きまりを守らないと困る人がいる。自分たちのことだけじゃないんだ。

道徳の時間 3-(2) 動植物愛護


「ごみを食べた生きものたち」

1 ねらい
 一人くらい大丈夫と考えることが、遠く離れた場所に住む野生動物の命を奪うという環境破壊につながることに気付かせ、進んできまりを守ろうとする態度を育てる。

「一人くらい」という考えはやめよう。ちゃんとごみの出し方のきまりを守って、多くの生き物を守る。



<波音を聞きながら動物たちの声を想像しよう>



学級活動 1h

「日常化へ！マナー向上大作戦！」

1 ねらい
 身近な社会のきまりやマナーを知り進んで守ろうとする意欲をもたせ、日常化への支援を図る。

2 展開
 ① 自分の知っている地域社会のきまりやマナーを発表し合う。
 ② それらのきまりやマナーがあるわけを考え、きまりやマナーの必要性について話し合う。
 ③ マナー向上のための実践計画を立て、実践を評価し合う。※心のノートp70～p73の活用可

きまりを守ると気持ちいい。

社会にはたくさんのきまりやマナーがあるんだね。

プログラム図(「第一次とりまとめ」より)

○特色

- ① 社会の出来事や実話など児童生徒が感動を覚える教材を使用した道徳の授業と、教科等の体験活動との系統性・関連性を持たせること。
- ② 学習指導要領の道徳教育で示された項目の中で、規範性に関する項目を重点的に取り扱うこと。
- ③ 児童生徒の発達の段階に応じて指導内容の重点化を図ること。

○内容

- ・プログラム図
- ・道徳の時間の学習指導案
- ・板書計画
- ・資料(読み物等)
- ・ワークシート
- ・場面絵